

NMI

ロータリーマグネット

取扱説明書

日本マグネティックス株式会社

目 次

1. はじめに	……P2
2. 注意事項	……P2～P3
3. 概要・構造	……P3
4. 棒磁石セット方法	……P3
5. 保守・点検	……P4
6. 修理・改造	……P4
7. 保証	……P4
8. 連絡先	……P5
9. 部品名称	……P6

1. はじめに

この度は、弊社のロータリマグネットを御購入いただき誠にありがとうございます。
安全に正しくご使用していただくためにもご使用の前に本説明書をご覧の上
正しくお使い下さい。

2. 注意事項

警告

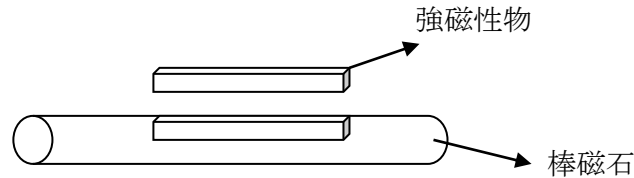
- 1) 回転する部分へ手を入れる時は必ず電源を落として下さい！
- 2) 棒磁石の磁力が強力な為、取外し、取付けの際は鉄類との間に指を挟まれない様にして下さい。
又、時計、精密機械、磁気カード、CPU 等は狂いが生じますので近づけないで下さい。
- 3) 棒磁石の減磁対策の為、棒磁石磁束密度 3000 ガウス以上で高温用棒磁石と指示のない物は 80℃以上の環境には使用できません。又、洗浄の為のスチームも使用しないで下さい。
- 4) ベアリングケース内へエアーパージが出来る構造の物は、パージ圧 0.2Kg/cm² MAX として下さい。オイルシールの破損の原因となります。

注意

- 1) 振動、衝撃
棒磁石の中に入っている永久磁石は、大変もろいものです。振動や衝撃を与えると欠け、破損にて減磁の原因になります。
- 2) 分解
棒磁石の内部は、特殊な磁気回路を組んでいます。
一度分解すると元の磁力の強さには戻りませんので分解しないで下さい。
- 3) 使用雰囲気
中性域でできるだけご使用してください。
UB タイプ、SB タイプは酸性域で耐蝕性が低いので外筒パイプの腐蝕、摩耗によるピンホールや亀裂により内部に侵入すると磁石の損傷減磁が起こります。

- 4) 強磁性体を繰り返し付着させないで下さい。

棒磁石の表面に鉄板等の強磁性物を繰り返し付着⇔引離しを行うと減磁することがあります。



- 5) 交流磁界の影響

交流磁界中に棒磁石を入れると減磁します。

着磁器、脱磁器の中には入れないでください。

- 6) 温度、圧力の影響

使用温度範囲以上で使用すると、元の磁力に戻りません。

必ず仕様の範囲で使用してください。

3. 概要・構造

ロータリーマグネットはシュート、ダクト、ホッパーの下部等、主に密閉ライン工程中における鉄分除去用にハウジングに組み込まれた構造となっております。

棒磁石は固定板に数本セットされており駆動軸に挿入、セットする事で回転致します。

取付け、取外しは点検窓を外す事により容易に作業できる構造となっております。

なお、棒磁石にサヤパイプカバーを取付けて付着した鉄分を容易に清掃、除去できるタイプもあります。

4. 棒磁石セット方法

- 4-1. 棒磁石とエンドプレートを皿ビスで結合します。
- 4-2. 棒磁石と棒磁石固定板を皿ビスで結合します。
- 4-3. 駆動軸に上記でセットされたものをはめ込んで下さい。
- 4-4. エンドプレートを軸にはめ込んで下さい。
- 4-5. 最後にセットボルトを軸に締め込んで下さい。
- 4-6. 清掃時はセットボルトを外して一式取り出し棒磁石セットを抜き出し付着された鉄分をふき取り除去して下さい。

※詳しくは別紙『組立図』をご覧ください。

5. 保守・点検

- 1) 棒磁石に付着された鉄分は定期的に点検蓋を開けて”棒磁石セット方法”に従い清掃して下さい。
- 2) 内部に使用していますベアリングはベアリング密封式のベアリングの為、保守点検は不要です。
- 3) インダクションモータは別紙”インダクションモータ取扱説明書”をお読み下さい。
- 4) 磁選する原料の種類が変わる時は、点検蓋を開け棒磁石セットを取り出し内部を圧縮空気等で吹き飛ばし清掃後ご使用下さい。

6. 修理・改造

弊社の合意なく改造や分解をした場合は、その結果について一切の責任を負いかねます。
分解は非常に危険な行為であり、適正に設計、製作された磁気回路に損傷を与えますので絶対に行わないで下さい。

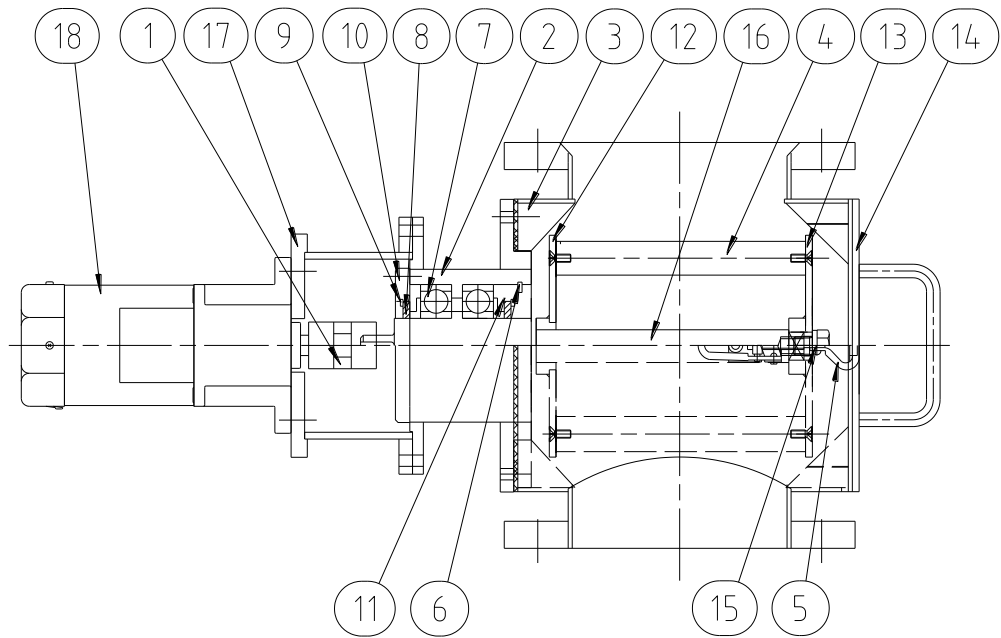
7. 保証

保証期間は納入後、一年間とし、この期間内に正常使用しているにもかかわらず不具合や損傷が生じた場合は無償で修理、交換致します。
但し、その場合の二次的保証は免責されるものとします。
摩耗性の高い原料や腐食性の原料を処理、磁選目的以外での使用方法による不具合や損傷が生じた場合はこの限りではありません。

8. 連絡先

日本マグネティックス株式会社			
所在	本社工場	東京営業所	大阪営業所
住 所	〒818-0114 福岡県太宰府市北谷ソイラ 716-2	〒114-0013 東京都北区東田端 1-7-3 田端フタビル 3F	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-1-29 新大阪 SONEビル 12F
電話番号	0 9 2 (9 2 2) 7 1 6 1	0 3 (3 8 9 5) 6 2 7 1	0 6 (6 3 0 4) 6 6 6 8
F A X 番号	0 9 2 (9 2 2) 7 1 6 2	0 3 (3 8 9 5) 8 4 5 6	0 6 (6 3 0 4) 6 4 8 5

9. 部品名称(基本構造図)



18	インダクションモータ	1	オリシタル	5IK90GU-STF
17	モータベース	1	SUS304	
16	シャフト	1	SUS304	
15	セット用ボルト	1	SUS304	
14	点検窓	1	SUS304	
13	インドプレート	1	SUS304	
12	棒磁石固定板	1	SUS304	
11	オイルシール	1	SUS304	
10	ベアリングケース蓋	1	SUS304	
9	穴用C型止め輪	2	SUS304	φ 65
8	オイルシール	2	NOK	V040× 65× 5
7	深溝玉軸受	1	NTN	6308ZZ
6	穴用C型止め輪	1	SUS304	φ 90
5	アジャストファスナー	2	SUS304	C-1222
4	棒磁石	6	SUS304	
3	クーリング	1	SUS304	
2	ベアリングケース	1	SUS304	
1	ジョーフレックスカップリング	1	ツバキ	L070-S
品番	名称	数量	材質	備考